



安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.61

令和3年12月20日

文責：校長 伊藤 孝行

素敵な言葉を見つけたので、ご紹介します。

2回にわたり、子どもの成長と親の関わりについて述べてきました。子どもが成長していくと、段々親の手から離れていくように感じますね。

先日、こんな素敵な言葉を見つけたので紹介させていただきます。



「ジョージ・マクドナルド 英国」

みどりごよ、おまえはどこから来たのだろうか。いずこの家なりと行けたはずなのに、とくに選んでわが家へ来たのは？

※ すやすやと気持ちよさそうに眠っている赤ちゃん（みどりご）を見て、どこの家でも生まれることができたのに、この子はどこからどうして自分たちのところに生まれてきたのだろうか？きっと私を選んでくれたのだろう。

子どもが生まれたとき、親は誰もがこう思ったことと思います。それが、大きくなると、「言うことは聞かないし、反抗はするし」・・・、と思うこともありますね。

でも、お子さんの寝顔をそっと眺めてみてください。赤ちゃんの頃を思い出し、愛しくなると思います。

近頃の子どもの学習活動について

ここ最近、子どもたちの学習活動を見ていると、改めて、急激に変化していると感じませんか。

その理由は、学習指導要領が改訂されたからです。学習指導要領というのは、文部科学省が学校教育としてやるべきものを定めたものです。これが2020年度から全面的変わりました。

① 総授業時間数の変化

- * 4年～6年 1015時間 (+35時間)
- * 3年 980時間 (+35時間)

私の記憶では、日本で義務教育が始まって以来初の3年生の6校時の日ができました。

② 3・4年生に外国語活動が新設

- * 年間35時間の外国語の授業
- * 主に「聞く」「話す」学習



③ 5・6年生に外国語が新設

- * 年間70時間の外国語の授業
- * 「読む」「書く」活動が加わる
- * 600～700程度の単語の習得

④ ICT教育

- * プログラミング教育の新設
- * 情報通信ネットワークの活用



⑤ SDGsに関する教育

- * ジェンダーフリー教育
- * 持続可能な社会作りのための教育

昨年は4月に入り臨時休業となり、その後も新型コロナウイルスに振り回され、今年は10月前半までの大流行で、新しい教育についてお知らせすることができずにいました。今回、現在子どもたちが学んでいる「学習指導要領」について簡単ですがお知らせすることができ嬉しく思います。

新型コロナウイルスによる学校生活の変化に加え、学習指導要領が変わったことで学校教育の内容も大きく変化しているということをご理解いただけましたら幸いです。